

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人ジェイエイ兵庫六甲福祉会	代表者	山脇 利文	法人・事業所の特徴	平成 29 年度の事業所目標として、『おもいやりの心と愛情いっぱい、幸せな日々を過ごせるステキな尼崎立花』となるよう、職員一同取り組んでおります。毎日の生活を健康に安心して過ごせるよう、各自のリハビリメニュー作成やレクの充実、食事は JA 野菜と白米を使用して手作りのものを提供しております。
事業所名	オアシス尼崎立花	管理者	布村 誠		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0 人	1 人	2 人	1 人	1 人	1 人	0 人	21 人	人	27 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	利用者情報を共有できるように、連絡ノート・個人ノート・毎日の申し送りを徹底していく。利用表は朝礼時に随時確認する。	利用者の体調や健康面など連絡事項を、随時共有するように努めた。勤務形態による時間的な職員間の誤差が多少あった。	外部評価では、項目によっては評価しにくいとの意見あり。また、サービス評価の取組みが職員に浸透していない。	1 年間通して事業所全体の取り組みとしていきたい。毎月の職員会議による振り返りや職員研修の実施に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	行政との連携による防犯体制の強化として、防犯カメラの設置や防犯訓練など実施する。	平成 29 年 12 月に防犯カメラ 4 台設置工事完了。防犯訓練は未実施。	地域の子どもたちとの交流などあり、地域の拠点としてまもれあまっこ 110 番として登録に評価。	1 階掲示板の充実。防災訓練の実施(年 1 回)。
C. 事業所と地域のかかわり	面会時の挨拶を徹底していく。地域や家族との信頼関係構築の取り組みをしていく。	面会時の挨拶は随時実施中。地域行事には、一部の参加者のみであり課題と感じる。	ご家族の一部からは、挨拶の実施は職員による個人差があると感じている。	介護食講座の定期開催継続。接遇研修の実施により、職員全員が気持ちの良い関わりができるように努める。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	月 1 回以上の地域行事参加や、地域住民との交流の場を設けていく。	毎月 1 回以上の地域行事に参加。	定期的な参加の継続及び地域住民との密な関わり。地域には、オアシスの認知度がまだまだ不十分である。	利用者が地域行事に参加できるような支援体制に努める。(地域行事の情報収集)
E. 運営推進会議を活かした取組み	オアシスの活動を情報発信していき、地域の方にもっと理解を得る。民生委員や地域住民との連携強化。	地域行事の参加及び民生委員との連携強化ができた。	運営推進会議のなかで、様々な意見交換や情報収集ができています。	運営推進会議の内容を職員全員で共有していく。(議事録の回覧)
F. 事業所の防災・災害対策	防災訓練の実施やマニュアルの整備。避難場所までの誘導について定期的な訓練実施。	年 1 回の防災訓練を実施。	備蓄リストについて、保存方法や在庫量などの指摘があり見直しが必要である。	防災訓練の実施(年 1 回)。備蓄リストの見直し及び補充。